

取扱説明書

メタルハライド
ハイベックススポットライト

FHI3-1200W

この度は丸茂電機製品をお買いあげいただき誠にありがとうございます。器具を取付・設置・使用される前に、この説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。また、大切に保管していただき、必要に応じてご参照ください。



この製品は舞台・スタジオ用照明器具です。



FHI3-1200W

定格・仕様

	メタルハライドハイベックススポットライト		電源ボックス	ディミングシャッタ
型式名称	FHI3-1200WS1	FHI3-1200WS2	EB-1200-1	DS-80A
定格電圧	100V		AC100V ± 10%	DC24V
定格消費電力	1200W		1900W	4.9W
適合ランプ	DIS-12H		-	
適合光源	-		FHI3-1200W	
電源供給方法	EB-1200-1		-	EB-1200-1
最高周囲温度	40℃	40℃	40℃	40℃
最高表面温度	200℃	200℃	-	-
本体/バンドア質量	8.2kg/1.1kg	8.2kg/1.1kg	7.5kg	2.5kg
上下使用角度範囲	上方向 90° ~ 下方向 90°	上方向 90° ~ 下方向 90°	-	-
ハンガー使用角度範囲	上方向 30° ~ 下方向 90°	上方向 30° ~ 下方向 90°	-	-
スタンド使用角度範囲	上方向 90° ~ 下方向 40°	上方向 90° ~ 下方向 40°	-	-
最小離隔距離	0.3m	0.3m	-	-
最小照射距離	2.4m	0.7m	-	-
フィルタホルダ枠許容荷重	5kg	5kg	-	-
レンズ	メニスカス型ハイベックス レンズ 200D120F (LES-H200M-120S1)	メニスカス型ハイベックス レンズ 200D120F (LES-H200M-120S2)	-	-
リフレクタ	鏡面 120D75R (MIR-0031)		-	-
ソケット	G36		-	-
コード類	灯具コード		電源コード CBL-MH-A2(2m)	シャッタ制御コード CBL-MH-F20(20m)
プラグ	-		C型 30A(C-30P)	-
灯体材質	アルミニウム合金		銅板	アルミニウム合金
塗装	黒			
フィルタホルダ	245mm(IRM-80A)		-	-

機器名板の解説

① 舞台・スタジオ用照明器具

③ FHI3-1200WS1 ②

④ 点灯電圧 100V
消費電力 1200W

⑤ 適合ランプ DIS-12H
適合電源ボックス EB-1200-1

⑥ 最高周囲温度 40℃
⑦ 最高表面温度 200℃
⑧ 本体質量 9.3kg

⑨ 上下使用角度範囲
水平方向 90°
90°

⑩ 最小離隔距離・⑪ 最小照射距離
 0.3m 2.4m

取扱説明書を必ず読んでから使用してください

MARUMO ELECTRIC CO., LTD. JAPAN

- ① 舞台・スタジオ用照明器具を表すマークです。
- ② 型式名称：照明器具の型式名称を表示しています。
- ③ 上部方向：矢印が上を向く方向が照明器具の上部方向です。
- ④ 法定表示：「点灯電圧」「適合ランプの定格合計消費電力」「製造事業者名（略称）」など電気用品取締法に基づく表示を行っています。
- ⑤ 適合ランプ：表示されたランプを使用してください。
- ⑥ 最高周囲温度：照明器具を通常の使用状態のもとで連続動作させてもよい周囲温度の最高値を表しています。
- ⑦ 最高表面温度：使用角度範囲内において連続点灯したときの外面温度の最高値を表します。
- ⑧ 本体質量：ハンガーその他の付属品を含まない照明器具本体（ランプを含む）質量を表しています。
- ⑨ 上下使用角度範囲：照明器具の基準方向（光軸水平方向）に対し上方向、下方向の許容角度範囲を表しています。※1
- ⑩ 最小離隔距離：可燃物と照明器具周辺面との間の最小距離を表しています。
- ⑪ 最小照射距離：照明器具と被照射対象物との最小距離を表しています。

※1 吊り・置き使用時の制約については、上記の仕様表をご覧ください。

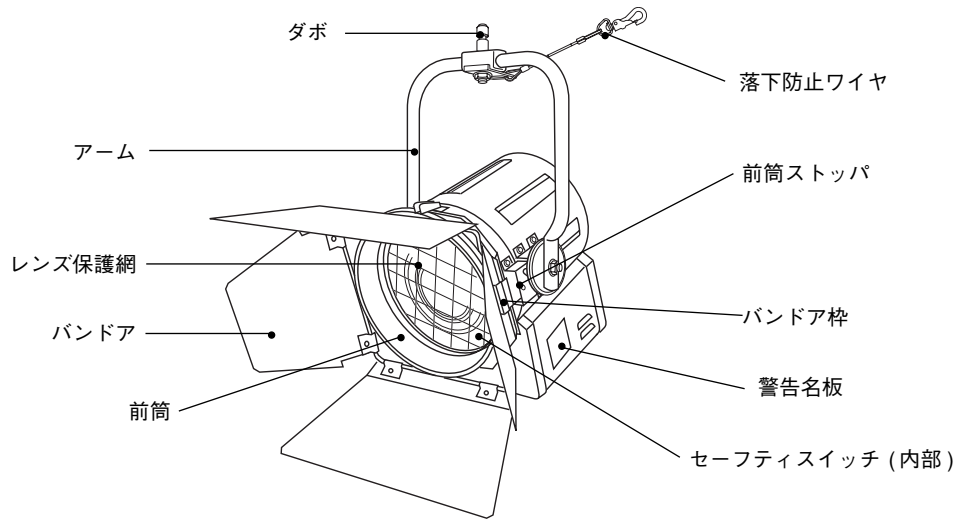


MARUMO ELECTRIC CO., LTD.

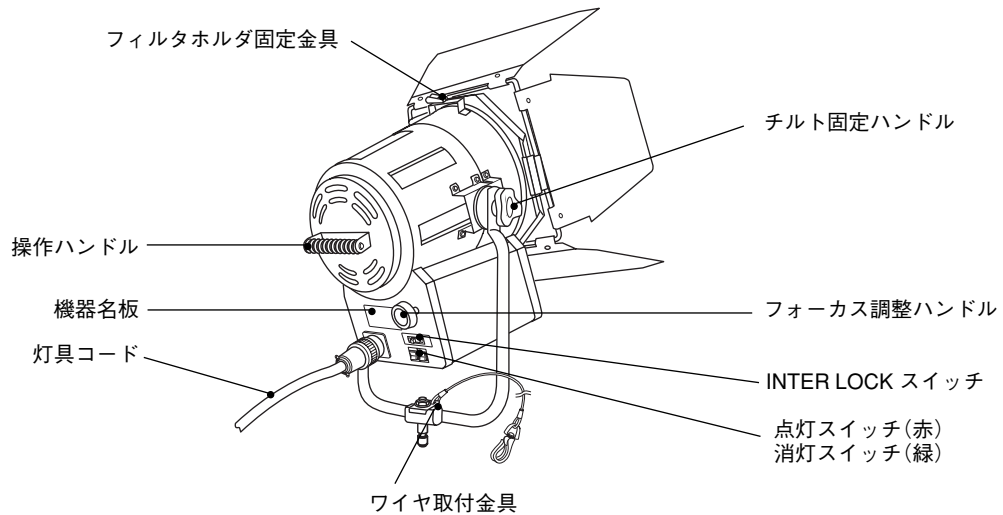
FHI3-1200W 各部の名称と機能

FHI3-1200W はメタルハライドランプを使用し、点灯時には灯体下部に内蔵しているイグナイタで起動します。

前面



後面



● 灯具コード

灯具コードは、専用安定器 (EB-1200-1) の OUTPUT コネクタへ接続してください。

※オプションの延長ケーブルを使用できます。

● セーフティスイッチ

メタルハライドランプは紫外線を微照射するため、スポットライトの前筒が開いた状態では点灯しないようにセーフティスイッチが内蔵されています。

本体後部の消灯スイッチとセーフティスイッチはシリーズに接続されていて、前筒を開けるとセーフティスイッチが作動し消灯します。また、この状態で電源スイッチを ON にしても点灯できなくなります。

● 点灯／消灯スイッチ

ON(赤)：点灯します。
OFF(緑)：消灯します。

● INTER LOCK

ランプ交換やランプの状態を確認する際に、点灯させないためのスイッチです。

NOMAL：通常使用時
SAFETY：電球交換時

● 照射径の調整

照射径を大きくする場合は、フォーカス調整ハンドルを左に、小さくする場合は右に回転して下さい。

● 照射方向の調整

1. 左右方向に調整する場合は、ハンガー又はスタンド等の取付機材に設けたパン固定ハンドルを軽く締めて行き、方向調整後は確実に締めつけて下さい。
2. 上下方向に調整する場合は、チルト固定ハンドルを軽く緩めて行き、方向調整後は確実に締めつけてください。



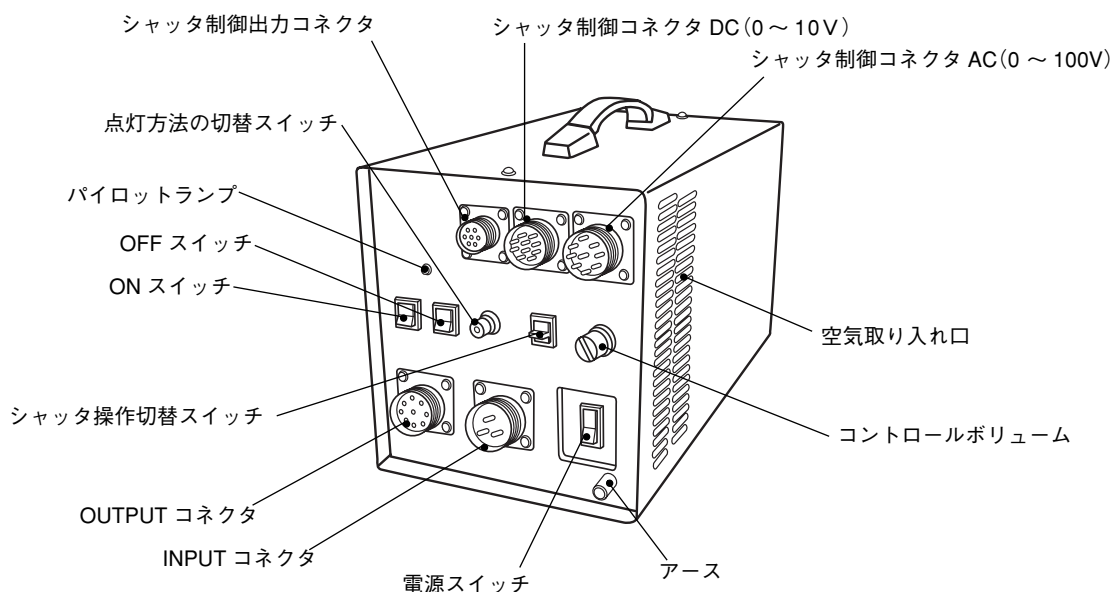
● 初めて点灯するときは塗料の発煙・発臭を伴うことがありますが、異常ではありません。30分程度点灯することにより解消します。

● 本製品はランプ点灯用高圧イグナイター回路を搭載しています。入力を遮断後も高圧イグナイター回路周辺には触れないでください。

● レンズを取り外して点灯しないでください。紫外線により目や皮膚に炎症を起こす原因になります。

EB-1200-1 各部の名称と機能

前面



※ EB-1200-1 は、FHI3-1200W と DS-80A 専用のコントローラ内蔵の安定器です。他の用途には使用しないでください。

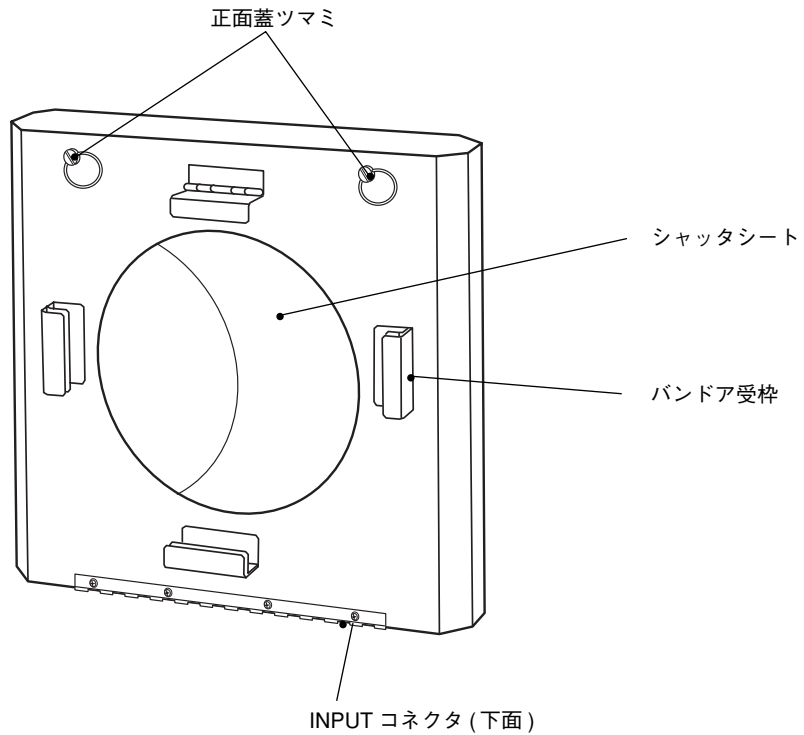
- 電源スイッチ
電源が投入されると、スイッチが点灯します。
- INPUT コネクタ
電源入力用のコネクタです。電源ケーブルを接続します。
- OUTPUT コネクタ
灯具電源出力用のコネクタです。灯具コードを接続します。
- シャッタ制御コネクタ AC(0 ~ 100V)
調光器出力によるシャッタ制御信号入力用のコネクタです。
- シャッタ制御コネクタ DC(0 ~ 10V)
調光信号 (DC0 ~ 10V) によるシャッタ制御信号入力用のコネクタです。
- シャッタ制御出力コネクタ
シャッタ制御出力用のコネクタです。シャッタ制御ケーブルを接続します。
- シャッタ操作切替スイッチ
AC：シャッタ制御コネクタ AC (0 ~ 100V) からの信号でシャッタを制御します。
SELF：コントロールボリュームでシャッタを制御します。
DC：シャッタ制御コネクタ DC (0 ~ 10V) からの調光出力でシャッタを制御します。
- コントロールボリューム
シャッタのセルフコントロールを行うボリュームです。
OPEN: 全開状態
CLOSE: 全閉状態
- 点灯方法の切替スイッチ
AUTO：EB-1200-1 に電源が投入されると、自動的に点灯するモードです。
REMOTE：遠隔操作にて点灯するためのモードです。
SELF：EB-1200-1 及び灯具の ON/OFF スイッチにて点灯するモードです。



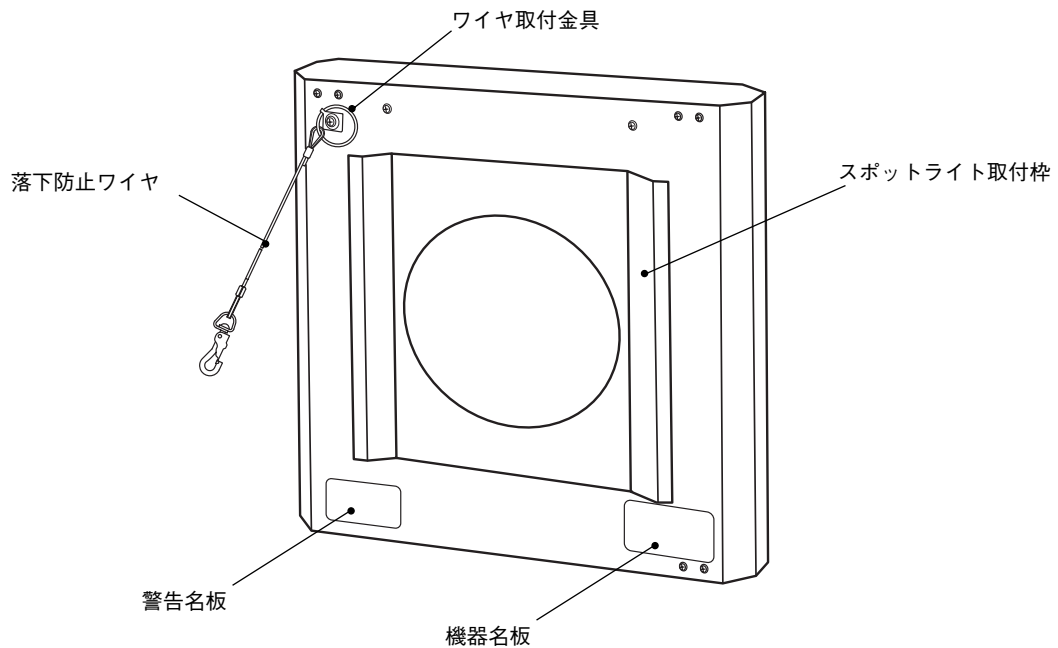
- 設置場所の周囲温度は定格周囲温度を守ってください。
周囲温度が高すぎると電源ボックスが故障する恐れがあります。
- 電源投入時にファンが回転することを確認してください。また、ファンと筐体の空気取り入れ口の長穴が塞がれていないことも確認してください。冷却が十分に行われないと安定器が故障する恐れがあります。

DS-80A 各部の名称と機能

前面



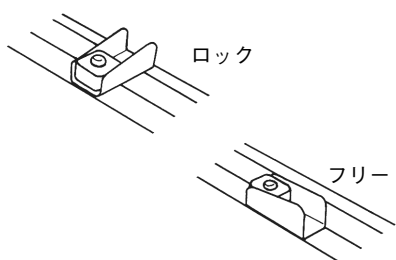
後面



●スポットライト (FHI3-1200W) への装着方法

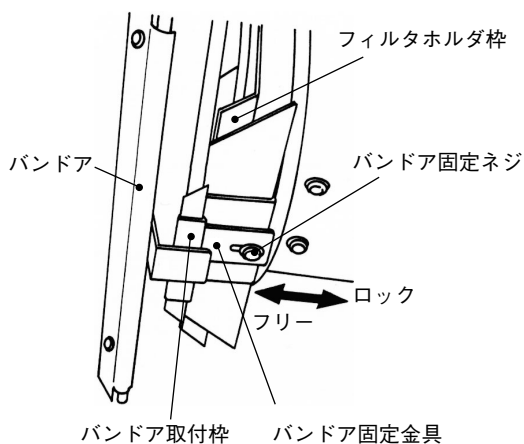
1. スポットライト (FHI3-1200W) からバンドア (BD-80C) を取り外します。
2. スポットライト (FHI3-1200W) のフィルタホルダ枠に DS-80A のスポットライト取付枠を差し入れてください。
3. 落下防止のためスポットライト本体にあるフィルタホルダ固定金具をロックの状態にして、落下防止ワイヤーをスポットライトのアームに巻き付け DS-80A 側のワイヤー取付金具につけるか、そのままスポットライトのワイヤー取付金具につけてください。
4. 必要に応じて、バンドア (BD-100A) を取り付けます。

フィルタホルダ使用方法



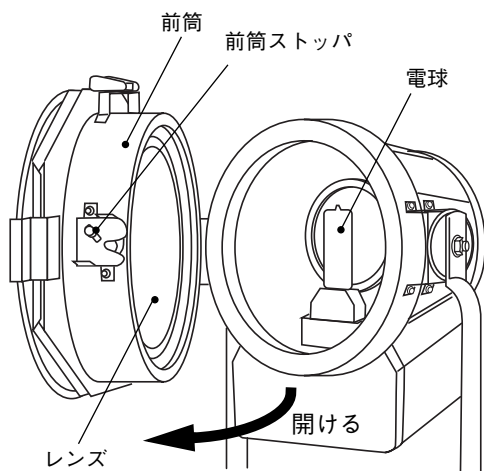
1. フィルタホルダの大きさに合わせてカットしたカラーフィルタを、フィルタホルダに装着してください。
2. フィルタホルダを、上面から差し入れ口に入れて下さい
3. 落下防止のために固定金具を回転させロックしてください。

バンドア装着方法

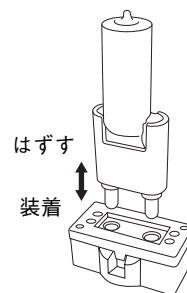


- 取りはずす場合**
バンドア固定金具のネジをドライバーで緩めて、固定金具をはずしてください。バンドア取付枠に装着してあるバンドアが外れます。取りはずした後は、バンドア固定金具のネジを確実に締め付けてください。
- 装着する場合**
取りはずす場合と逆の手順になります。バンドアをバンドア枠に差し込んでください。バンドア固定金具のネジを緩めて、バンドアが固定されるように固定金具をスライドし、固定ネジを確実に締め付けて固定してください。

電球交換方法



1. INTER LOCK スイッチを「SAFETY」側に切り替えてください。
2. 前筒ストッパを手前に引き、前筒を開けてください。
3. ランプを上引き抜き、取りはずしてください。
4. 新しいランプを装着してください。ランプ口金部とソケットの間に隙間がなくなるまで差し込んでください。
5. 前筒を確実に閉めてください。
6. プラグを差してください。
7. INTER LOCK スイッチを「NOMAL」側に切り替えてください。

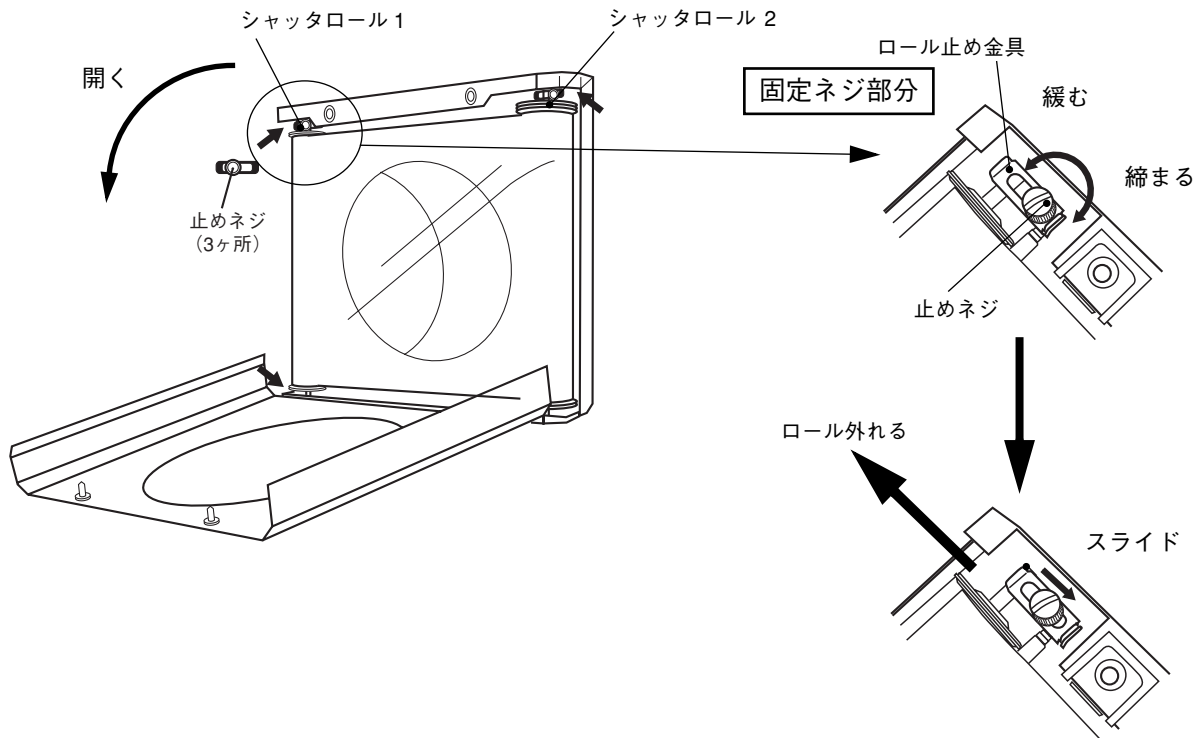


- ランプの取り扱いには、ランプに添付の取扱説明書に従ってください。
- 感電防止のため、プラグは必ず抜いてから行ってください。
- 消灯後1分間は灯具の前筒を開けないでください。
- 消灯直後の灯具及びランプは熱いので十分に冷えてから行ってください。
- ランプの取り扱いの際には、バルブの失透を防ぐため、手袋などを使用してください。
- ランプはガラスの黒化や膨れ、電極の変形等が認められる場合には、交換してください。

DS-80A シャッタシートの脱着方法

シャッターロールの外し方

1. ニヶ所の正面蓋ツマミを回してロックを解除し、正面蓋を開けます。
2. シャッターロールの止め金具ネジを緩めます。(3ヶ所)
3. シャッターロール止め金具をスライドさせ、シャッターロールを外すことができます。
向かって左側のシャッターロール 1 はそのまま持ち上げれば外すことができます。
向かって右側のシャッターロール 2 は、駆動部の軸から引き抜くように外します。



シャッターシートの装着方法

1. シャッターロール 2 の溝にあわせてシートの先端 (両端 2ヶ所) を耐熱テープで止めます。そのときに、遮光シートの光っている面を上にご覧ください。
2. シャッターロール 2 をシャッター本体に取付けます。
シャッターロール止め金具で固定してください。(1ヶ所)
3. シャッターロール 1 をシートの中に差し込んで、シャッター本体に取付けます。
シャッターロール止め金具で固定してください。(2ヶ所)
4. シャッターシートをシャッターロール 2 に緩みがないように巻き取り、シャッターシートの端シャッターロール 2 に耐熱テープで止めます。

シャッターシートの調整

1. シャッター本体にシャッターシートを装着する前に、電源ボックス (EB-1200-1) に接続しシャッター本体が動作できる状態にしてください。
2. シャッターロール 2 を駆動軸からいったん外します。
3. シャッター本体を動作させ、全閉状態になるように動作させます。
4. シャッターロール 2 を、シャッター本体へ再び装着します。そのときシャッターシートが 10mm ほど重なりあうようにしてください。シート位置の調整は、四角い駆動軸とシャッターロール 2 の四角い穴の取付位置で 90° 単位で調整します。
※重なりが不十分だと、全閉動作をしても全閉になりません。
※重なりが多すぎると、全開動作をしても全開になりません。
5. シャッターロール 2 をシャッターロール止め金具 (1ヶ所) で固定します。
6. 正面蓋を閉め、正面蓋ツマミでロックしてください。
7. シャッターを操作し、開閉動作に支障のないことを確認してください。

FH13-1200W の点灯および消灯方法

別頁「接続方法」に従い、灯具 FH13-1200W、電源ボックス EB-1200-1 が正しく配線されていることを確認してください。

●点灯と消灯

1. 点灯方法には3通りあります。電源ボックス EB-1200-1 の点灯方法切替スイッチで切り替えることができます。
SELF: FH13-1200W の点灯/消灯スイッチ、または電源ボックスの ON/OFF スイッチで点灯、消灯します。
REMOTE: 外部から点灯、消灯が可能になります。
AUTO: 電源ボックスの電源スイッチで電源が投入されると、自動的に点灯します。消灯は、電源の遮断にて行います。
※ランプ点灯の際は電源ボックス EB-1200-1 のパイロットランプが点灯します。
・点灯が成功するとパイロットランプが赤色→緑色に変わります。点灯が失敗すると赤色が点灯します。
・点灯が失敗の場合は、いったん電源ボックスの電源スイッチを切り、ランプ状態をご確認のうえ、再度点灯を試みてください。
※ FH13-1200W の前筒を開くと、安全のためセーフティスイッチが作動し点灯しません。
いったん電源ボックスの電源スイッチを切り、前筒を確実に閉めてから、電源を再投入してください。
※ FH13-1200W の INTER LOCK スイッチが SAFETY 側にあるときは安全の為、点灯しません。
いったん電源ボックスの電源スイッチを切り、NORMAL 側に切り替えてから、電源を再投入してください。
2. EB-1200-1 の電源スイッチを入れてください。
点灯方法を AUTO にしていた場合、ここでイグナイタが自動起動し、ランプは自動点灯します。
3. 選択した点灯方法に従い、点灯を行います。
※点灯動作後約3秒間経過してもランプが点灯しない場合は、安全のためイグナイタは動作を停止し、電源ボックスも出力も停止します。いったん電源ボックスの電源スイッチを OFF にし、15秒以上待ってから電源スイッチを ON にして点灯動作を行ってください。
※ランプが装着されていないときに点灯動作をすると、安全のためイグナイタは動作を停止し、電源ボックスも出力も停止します。いったん電源ボックスの電源スイッチを OFF にし、ランプを確実に装着してから電源スイッチを ON にして点灯動作を行ってください。
4. 選択した消灯方法に従い、消灯を行います。
正常点灯以外でイグナイタ及び電源ボックス出力が停止した場合はいったん電源スイッチを遮断後、約15秒の待機時間が必要です。

※点灯・消灯時の注意

ランプが点灯してすぐに消灯するとランプの特性上点灯しにくくなり、ランプ寿命に重大な影響を与えます。
いったんランプを点灯したら3分間は消灯させないでください。
またランプ消灯直後から約90秒間は、ランプの特性上再点灯しにくくなります。
ランプを再点灯させるときは、ランプを消灯してから90秒ほど待ってから再点灯させてください。

●異常時の出力停止

点灯時に下記のような異常があると出力を自動的に停止し、消灯します。それぞれに応じた処置を行った後、再点灯してください。

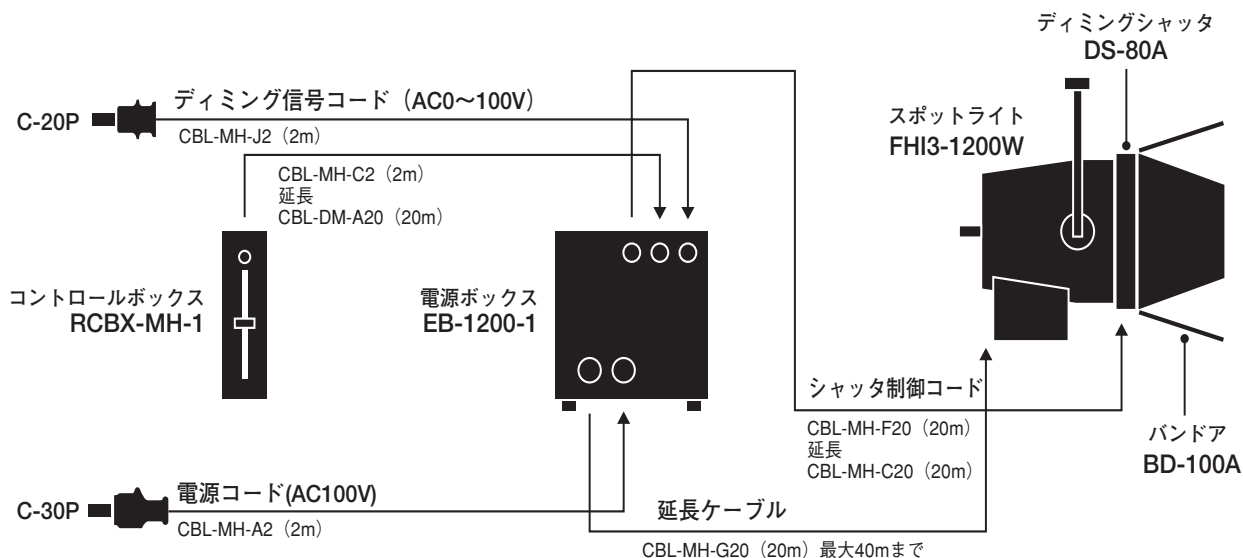
1. ランプ故障その他の異常によってランプが消灯（立ち消え）した場合、出力を停止します。
いったん電源スイッチを OFF にしランプその他に異常がないことを確認してください。
必要に応じてランプ交換等を行った後電源スイッチを再投入し、再点灯してください。
※再点灯までには約15秒の待機時間が必要です。
2. 電源ボックスには約100℃のサーマルガードがあります。
電源ボックスが過熱してこれが動作すると出力を停止し、消灯します。
いったん電源スイッチを遮断し電源ボックスの温度が低下してから（遮断後10分以上）電源スイッチを再投入します。
※セーフティスイッチに関する注意
前筒を開ける前には必ず電源ボックスの電源スイッチを切ってください。
点灯方法で AUTO を選択しているときに前筒が開いた状態（セーフティスイッチが作動しているとき）で電源が投入されていると、前筒を閉めたときにセーフティスイッチが解除され、自動点灯し危険です。点灯方法で AUTO を選択し前筒を開けるときは、INTERLOCK スイッチを SAFETY にしてください。

DS-80A の操作方法

1. 電源ボックスのシャッタ操作切替スイッチにて、DC/SELF/AC のなかから任意の操作方法を選択することができます。
AC: 調光器出力 AC(0～100V)にて、制御します。
SELF: 電源ボックスのコントロールボリュームで制御します。
DC: 調光信号 DC(0～10V)にて、制御します。（オプションのコントロールボックス RCBX-MH-1 での操作することもできます。）
2. EB-1200W-1 の電源スイッチを ON に入れてください。
FH13-1200W に接続し点灯方法切替スイッチを AUTO に設定していた場合、FH13-1200W はここで点灯しますので注意してください。
3. 各操作方法によってディミングシャッタ DS-80A のシャッタ開閉が操作できます。
※ディミングシャッタ DS-80A を装着した場合、適合バンドアは FH13-1200W 付属のバンドア BD-80A ではなくディミングシャッタ付属のバンドア BD-100A になります。

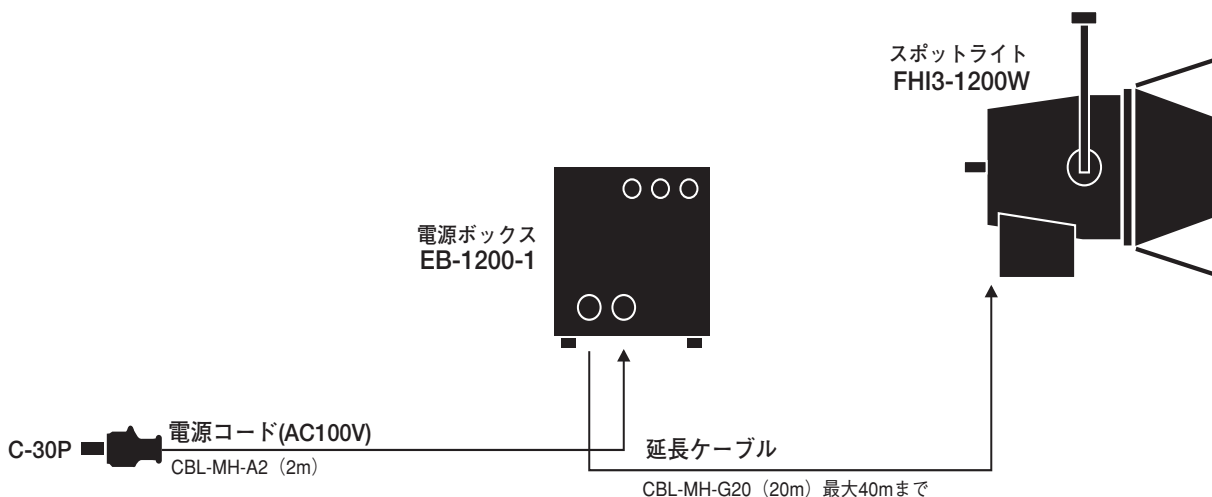
接続方法 -1

● DS-80A を使用する場合



接続方法 -2

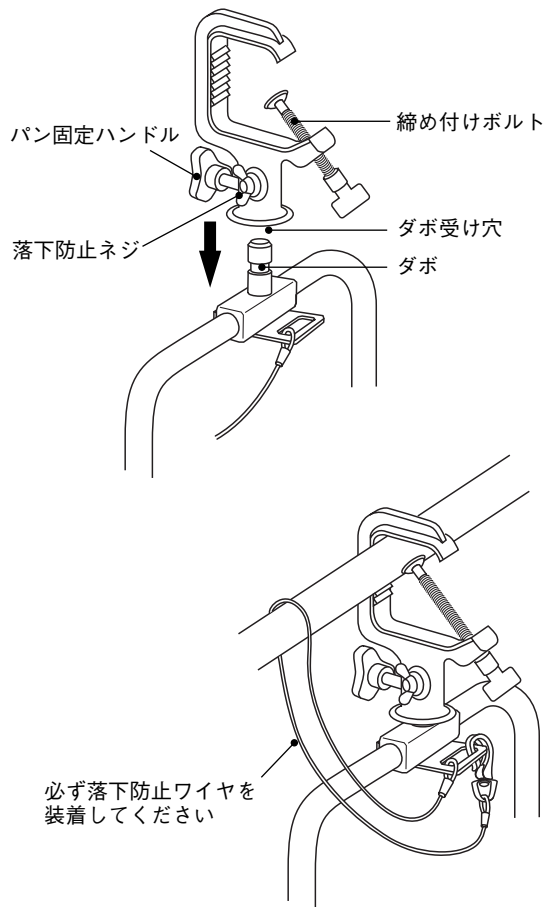
● DS-80A を使用しない場合



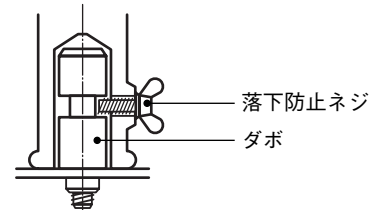
- 設置場所の周囲温度は定格周囲温度を守ってください。周囲温度が高すぎると電源ボックスが故障する恐れがあります。
- 電源投入時にファンが回転することを確認してください。また、ファンと筐体の空気取り入れ口の長穴が塞がれていないことも確認してください冷却が十分に行われないと安定器が故障する恐れがあります。
- 電源ボックスの接地は必ず取ってください。

ハンガーによるパイプへの取付

代表的な HAS 型のハンガーの取付例です。その他のハンガーをご使用になる場合にはそれぞれのハンガーの取扱説明書を参照してください。



1. ダボが入るように、落下防止ネジ、パン固定ハンドルを緩めてください。また、パイプにセットできるように締め付けボルトを緩めてください。
2. 器具のダボをハンガーのダボ受け穴に最後までしっかりと差し込んでください。
3. 落下防止ネジを確実に締め付けて、ハンガーが外れないことを確認してください。確認した後、パン固定ハンドルを締めてください。

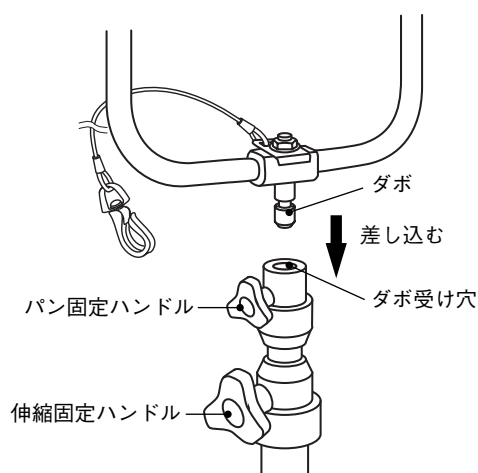


4. パイプにハンガーを掛け、締め付けボルトで、しっかり固定してください。
5. 落下防止ワイヤをパイプに回し、ナス環をワイヤの取付金具に確実に取り付けてください。



● 落下防止ワイヤは、取扱説明書の点検項目に従って異常がある場合は交換してください。また、一度でも落下防止としてショックが加わったものは、外見が正常であっても新しいものと交換してください。

スタンドへの取付



1. ダボが入るように、パン固定ハンドルを緩めてください。
2. 器具のダボをスタンドのダボ受け穴に最後までしっかりと差し込んでください。
3. パン固定ハンドルを締めてください。
4. 伸縮式スタンドをご使用の場合は、伸縮固定ハンドルを確実に固定してください。詳しくはスタンドの取扱説明書を参照してください。

安全にご使用いただくために

 警告	警告：取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または負傷を負う可能性が想定される場合や、軽傷または物的損害の発生する頻度が高い場合に用いています。
	<ul style="list-style-type: none"> ●このスポットライトは演出空間用の照明器具です。舞台・スタジオ等の演出空間の用途以外には使用しないでください。一般用照明器具として使用する製品ではありません。
	<ul style="list-style-type: none"> ●器具の点灯中及び消灯直後は、本体周辺を素手で触らないでください。本体周辺が高温のため、やけどの原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●器具の取付・設置にあたって、可燃物と器具周辺面（照射方向を除く）との最小距離は本体表示及び取扱説明書に従って十分な距離をとって取り付けてください。指定距離（最小離隔距離）より近すぎると、火災の原因となります。 ●器具と被照射面の距離は、本体表示及び取扱説明書に従って十分な距離を取ってください。指定距離（最小照射距離）より近すぎると、火災の原因となります。 ●器具の取付（設置）時には灯具コード、シャッターケーブルを器具本体に接触しないように離して取り付けてください。接触していると火災の原因となります。 ●器具から煙が出たり、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、異常状態が収まったことを確認してから、原因を究明してください。容易に原因がわからない場合には当社に修理を依頼してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●高電圧を発生させる器具のため、指定の使用条件で使用してください。使用条件を厳守されないと、感電・火災の原因となります。 ●電球を装着しない状態で点灯しないでください。感電のおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●器具の上下使用角度に制限があります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく使用してください。使用角度を超えて使用すると、電球の破裂や器具破損の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●器具の本体質量に見合った取付金具を使用してください。取付金具の選定を間違えると落下し、物的損害やけがの原因となります。 ●フィルタホルダは適合品を使用し、取付は取扱説明書に従って確実に行ってください。固定金具や固定ネジを確実にとめないで器具の破損や、物的損害、けがの原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●器具を分解したり改造したりしないでください。落下・故障・感電・火災の原因となります。
 注意	注意：取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う可能性が想定される場合や、物的損害の発生する頻度が高い場合に用いています。
<p>屋内用の製品です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この器具は屋内用の製品です。屋外で使用しないでください。屋外で使用すると、感電・火災の原因となることがあります。 <p>取扱説明書をお読みください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●器具の取付・設置・使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要な時に活用してください。 <p>取り扱いは専門家が行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●器具の取付・設置・取り扱い・使用前の準備・点検・整備の作業は「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。また、据付に電気工事が伴う場合は、電気工事士など熟練者（専門家）が行ってください。未熟練者だけの対応は、間違いの原因になることがあります。 <p>取付・設置時の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●器具の取付・設置には適正な方向性が設定されています。本体表示及び取扱説明書に従って正しく取り付けてください。また、吊り下げ使用の場合は器具本体の落下防止ワイヤを取扱説明書に従って正しく取り付けてください。指定以外の取付を行うと、本体の破損や火災・けがの原因となります。 ●ハンガーの取付可能なパイプ径に制限があります。使用可能範囲を超えるパイプ径に取り付けると、照明器具・機材本体の破損や物的損害・けがの原因となります。 ●ハンガーの締め付けボルトを工具で強く締め付けしないでください。ハンガーの破損や落下などにより照明器具本体の破損や物的損害・けがの原因となります。 	<p>電源接続時の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源接続は確実に行ってください。接続が不完全な場合は、接続不良により発熱し火災の原因となります。 ●電源はアース接続をしてください。アース接続をしないと、感電の原因となるおそれがあります。 <p>使用時の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●指定された最高周囲温度以下で使用してください。この条件を超える環境での使用は、器具の破損・火災や電球の破裂の原因となります。 ●湿気や水気、埃の多いところでは使用しないでください。故障・絶縁不良の原因となります。また、埃や紙吹雪などが溜まったまま使用しないでください。火災の原因となります。 ●不安定な場所や、燃えやすいものの近くで使用しないでください。倒れたり、落ちたりして、火災・けがの原因となります。 ●ハンガーのネジ類は、振動で緩む場合があります。取扱説明書に基づき確実に処置をしてください。 ●この器具は紫外線を放射しますので、長時間にわたり人体に照射しないように注意してください。 <p>保管について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●埃の多い場所や湿度が高く結露しやすい場所での保管は避けてください。故障・絶縁不良の原因となります。 ●再使用するときは点検を行ってから使用してください。

安全にご使用いただくために



注意

注意：取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う可能性が想定される場合や、物的損害の発生する頻度が高い場合に用いています。

付属品の使用に伴う注意

- 器具のフィルタホルダ枠にカラーチェンジャなどの付属品を装着する場合は、フィルタホルダ枠の許容荷重に見合った付属品を使用してください。不適正な付属品の使用は、器具本体の破損や、付属品の落下による、物的損害・けがの原因となります。
- 紙フィルタホルダは適合品を使用し、位置ずれに注意してください。位置ずれがあると火災の原因となります。

ランプの取り扱いについて

- ランプの取り扱いには、ランプに添付されている取扱説明書または注意書をよくお読みください。また取扱説明書や注意書は保存し、必要ときに活用してください。
- ランプの交換は、指定されたランプをソケットに確実に装着してください。指定以外のランプを使用したり、ソケットへの装着が不完全な場合は、器具の破損・ランプの破裂の原因となります。

保守点検について

- ランプ交換、部品交換、清掃は必ず電源を切って行ってください。電源を切らないと感電することがあります。
- 交換部品は、当社指定の純正部品を使用し、取扱説明書に基づき確実に処置をしてください。指定外の取り扱いは器具の機能劣化・感電・火災を招く恐れがあります。

- レンズの清掃は、レンズに傷を付けないように行ってください。レンズの傷はレンズの破損やけがの原因となります。
- 安全シールド(レンズやレンズ保護網など)をはずしたり、損傷したままで使用しないでください。安全シールドに亀裂がないか、日常点検し、異常が生じている場合は使用を中止し、当社に対応を依頼してください。亀裂などは、安全シールドの効力をなくす原因となり、ランプの破裂などにより破片が落下し、火災・やけどの原因となります。
- 地震などの天災の後には、使用前に「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が必ず点検を行ってください。未熟練者だけでの対応は間違いの原因となる恐れがあります。

点検と修理

- 器具本体及び部品の寿命は、使用頻度、設置環境、取扱状態、保守管理状態によって異なります。性能及び安全性の確保のため、正しい維持管理を行ってください。また器具の日常点検を実施し、点検の結果に従ってそれぞれの処置を行ってください。
- 使用期間における経年変化、または使用状況によっては部品の消耗・劣化や絶縁性能の低下がありますので、専門技術者による定期点検をおすすめします。定期点検保守契約については、当社にお問い合わせください。
- 補修用部品の最低保有期間は8年です。

スポットライトの日常点検項目、および処置

分類	点検項目	日常点検				メーカー 修理依頼
		清掃	増締め	交換	その他	
灯体	フィルタホルダ枠、同固定金具、その他の灯体各部、アーム、ダボ等に異常変形や損傷がないか。					○
	角度調整部、その他可動部の動作は円滑で、確実に固定できるか。					○
	ネジに緩みはないか。		○			
	灯体内に塵埃や紙吹雪等がないか。	○				
落下防止 ワイヤ	灯体取付金具、ナス環等の金具類に変形や腐食(錆)はないか。					○*1
	ワイヤーにほつれ、伸び、キンク、錆等の異常はないか。					○*1
レンズ	レンズの変色、ひび割れ、破損等の異常はないか。			○		
	レンズ押え金具に、変形や損傷はないか。			○		
	レンズは汚れていないか。	○				
電源コード	変色、亀裂、変形はないか。					○
端子台	端子台の破損、端子ネジおよびその周辺、接続電線に変色、劣化、その他異常はないか。					○
	端子ネジは緩んでいないか。		○			
プラグ	変色、損傷がなく、コネクタ・コンセントとの接続に異常はないか。			○		
	端子ネジは緩んでいないか。		○			
ランプ	ランプのふくれ、変色、黒化やフィラメントの変形はないか。			○		
	ソケットに確実に装着されているか。				再装着	
ソケット	ソケットの破損、受金の変色・損傷、接続電線に変色、劣化、その他異常はないか。					○
	端子ネジは緩んでいないか。		○			
リフレクタ	リフレクタの変形や損傷はないか。					○
	リフレクタは汚れていないか。	○				
内部配線	異常変色、損傷はないか。					○
絶縁抵抗	器具は漏電していないか。(絶縁抵抗5MΩ以上)					○
電源ボックス	電源が投入されて、ファンは回っているか。					○

* 1. 落下防止ワイヤ及びその周辺金具に変形等の異常が生じた場合には、ワイヤおよび金具の一式交換が必要です。



丸茂電機株式会社

- | | | | |
|---------|------------|------------------------------|-------------------|
| ●本社・営業部 | 〒 101-0041 | 東京都千代田区神田須田町 1-24 | TEL.(03)3252-0321 |
| ●大阪営業所 | 〒 530-0057 | 大阪市北区曽根崎 2-2-18(だいしん・住生梅田ビル) | TEL.(06)6312-1913 |
| ●名古屋営業所 | 〒 460-0008 | 名古屋市中区栄 4-1-1(中日ビル) | TEL.(052)263-7425 |
| ●福岡営業所 | 〒 810-0041 | 福岡市中央区大名 1-14-45(福岡鴻池ビル) | TEL.(092)741-4762 |
| ●広島営業所 | 〒 730-0022 | 広島市中区銀山町 1-11(フジスカイビル) | TEL.(082)249-6400 |
| ●札幌営業所 | 〒 060-0061 | 札幌市中央区南一条西 7-12(都市ビル) | TEL.(011)261-0321 |
| ●仙台営業所 | 〒 980-0802 | 仙台市青葉区二日町 3-10(グラン・シャリオビル) | TEL.(022)263-0221 |